

平成22年度 鎌ヶ谷市地域公共交通会議

日 時：平成22年11月22日（月）午後2時より

場 所：市役所6階第1、2委員会室

司会

それでは、定刻となりましたので、「平成22年度鎌ヶ谷市地域公共交通会議」始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、鎌ヶ谷市地域公共交通会議にご出席いただきましてありがとうございます。

開催に先立ちまして鎌ヶ谷市長清水聖士よりご挨拶申し上げます。

市長

本日は、鎌ヶ谷市地域公共交通会議にお集まり頂きまして、誠にありがとうございます。

委員の皆様には、平素から、鎌ヶ谷市の交通行政につきまして、貴重なご意見やご指導を賜り、この場をお借りしてお礼申しあげます。

さて、鎌ヶ谷市を取り巻く公共交通環境ですが、本年7月に、都心と成田空港を結ぶ成田スカイアクセスが開通いたしました。また、この開通と同時に、北総鉄道も普通運賃が平均4.9%値下げされ、高額運賃の是正に向け一歩踏み出したところであり、鎌ヶ谷市といたしましては、今後とも、公共交通網及び交通環境の充実に努めてまいります。

一方、市民の身近な乗り物として、コミュニティバスききょう号は、導入以来10年目を迎え、年間約7万人の市民の方がご利用するまでになりました。

本日は、このコミュニティバスききょう号の路線の変更等について皆様のご意見をお聞かせ願いたく会議を開催した次第であり、詳細は後ほど事務局にご説明させます。

以上をもちまして、簡単ではございますが、私の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

司会

ありがとうございました。

つづきまして、本日の資料の確認をいたします。

本日の資料は、会議次第及び会議資料の冊子の二点でございます。

今年度、人事の移動等に伴いまして、委員に若干変更がでております。変更委員につきましては、各団体より推薦をいただき、事務局より委嘱状をお渡ししております。ここで新委員のご紹介を致します。鎌ヶ谷市地域公共交通会議要綱第3条第2号「一般乗合旅客自動車運送事業者」といたしまして、船橋新京成バス株式会社より戸澤健一郎様とざわけんいちろう、同じく、ちばレインボーバス株式会社せ とまさかず 瀬戸雅一様、鎌ヶ谷市地域公共交通会議要綱第3条第7号「一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体」といたしまして、新京成バス労働組合三橋裕樹様みつはしひろき、鎌ヶ谷市地域公共交通会議

要綱第3条第8号「千葉県警察」より鎌ヶ谷警察署江波戸^{えばとひろし}浩様、最後に鎌ヶ谷市地域公共交通会議要綱第3条第1号「鎌ヶ谷市職員」都市建設部次長^{こうちけんじ}高地健司、同要綱第3条第8号「道路管理者」として都市建設部道路河川管理課課長^{やりた}鎗田^{あつし}淳でございます。

なお、本日鎌ヶ谷市地域公共交通会議要綱第3条第1号に規定されております鎌ヶ谷市職員の都市建設部長小林宏が所要のため、欠席する旨連絡を受けております。

続きまして、本日説明等をさせていただきます事務局を紹介いたします。都市計画課都市政策室佐瀬、岩田でございます。最後に本日司会を務めさせていただきます私、都市計画課都市政策室小林でございます。よろしくお願いいたします。

なお、清水市長は、所要のためここで退席させていただきます。

会議につきましては、鎌ヶ谷市地域公共交通会議要綱第4条第3号により会長が議長を務めることと規定されておりますので、本規定により、^{とよだ}豊田会長よろしくお願いいたします。

議長（会長）

鎌ヶ谷市商工会副会長の豊田でございます。この会の会長を仰せつかっておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

現在運行されておりますコミュニティバスは平成18年に4路線に再編成いたしまして現在4年と8ヶ月経ち、もう

じき5年を迎えようとしています。市民生活の足としまして、多数の方に利用されております。非常に重要な役回りを果たしているように思います。今後は、環境の変化もあると思いますので、市と協力いたしまして公共交通の充実に努めたいと思っております。

この会は前回、昨年7月頃に開催いたしました。委員の皆様もしばらくぶりの会議ということでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日6人の方が人事異動等に伴いまして、新しく委員になりましたのでよろしくご協力の程お願い申し上げます。簡単ですが、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

本日の会議の議事録については、事務局にて作成することとなりますが、議事録署名人につきましては、前年度と同様の佐藤委員^{さとう}にお願いをいたしたいと存じますがいかがでしょうか。

各委員

異議なし

会長

ご異議がございませんので、会議録署名人を佐藤委員にお願いすることといたします。

本日、傍聴希望者はおりますか。

事務局

本日、傍聴者はおりません。

<p>会長</p>	<p>それでは会議に入ります。 本日の会議の議題は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ききょう号の運行時刻及び停留所の一部見直しについて 2 平成21年度「ききょう号」の利用人数及び運賃収入の実績報告について 3 平成21年度の意見・要望等について <p>そして、最後に船橋市で11月1日より3カ月の期限で実証実験を行っております、オンデマンドタクシーについて、当会議の委員でもあります千葉県タクシー協会京葉支部長の小池委員に状況の説明を事務局でお願いしております。</p> <p>それでは、1番目のききょう号の運行時刻及び停留所の一部見直しについて、事務局に説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>説明に先立ちまして今回の変更を行う5項目のうち、運行時刻の変更を除きました4項目について、配付資料1ページに記載しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>平成18年6月に現在の運行ルートに変更し、5年が経過いたしましたして年々乗降客も増加をしており、それに伴う運賃収入も増加傾向にあります。</p> <p>平成18年のルート変更以来、ききょう号の運行ルートにつきましても、各バス運行事業者の方々のご協力もあり、現在のルート及び便数が定着してきたところでございます。</p> <p>しかし、平成19年度に開業された、鎌ヶ谷大仏―鎌ヶ谷総合病院間の民間バス路線が昨年廃止されたこともあり、市民の方々からのききょう号の鎌ヶ谷総合病院乗り入れの要望も高まってきていることから、今回、鎌ヶ谷総合病院へ乗</p>

り入れを検討し、病院側と協議した結果、配付資料2、3ページの**資料1**のとおり平成23年4月より乗り入れをする予定であります。これに伴い現在鎌ヶ谷総合病院方面への利用を目的として設置しておりました新鎌ヶ谷南停留所は、鎌ヶ谷総合病院停留所設置に伴い廃止することとして、それぞれ手続きを各バス事業者において行う予定でございます。なお、これによりまして各路線で約450m延伸することになり、それぞれの総延長は南線が10.8km、東線・東線2あわせまして16km、西線が17.9kmに変更となる予定であります。

また、今回鎌ヶ谷総合病院までの延伸にあわせまして、日常的に遅れが生じておりました各路線の運行時刻につきまして再度、停留所間の所要時間を検証し変更案を検討した結果、変更案について各バス運行事業者とも概ね了解を得られたことから、資料4から6ページ**資料2**のとおり各路線について運行時刻を変更する予定であります。

変更案について簡単に説明をいたしますとおもに新鎌ヶ谷駅・市役所間の所要時間を2分としておりましたが、これらを見直して遅れを解消する予定であります。南線が発時間午前8時50分から午後6時33分着であったものを午前8時30分から午後6時37分に、東線・東線2が発時間午前9時00分から午後6時22分であったものを午前9時00分から午後6時31分に、西線が発時間午前8時45分から午後6時34分であったものを午前8時45分から午後6時48分にそれぞれ変更する内容でございます。

次にバス停留所の新設でございますが、7ページ**資料3**の東線の、御堂前・市民体育館の間につきまして、この間の距離が約1.1kmでございます。これは停留所設置基準の300mから500mを大きく超えております。

近辺にはまとまった住宅地があり、かねてより停留所設置の要望も出されていた箇所でございますため、停留所設置箇所隣接居住者、道路管理者及び当該バス事業者と協議し、今回軽井沢停留所として、鎌ヶ谷市軽井沢落山1914-16番地先に新設することといたします。

つづきまして、西線についてでございます。9ページ**資料4**にありますとおり現在設置されておりますみどり幼稚園入口停留所は、停留所名になっておりましたみどり幼稚園が新京成線連続立体交差事業により移転したことから、停留所名だけ残っておりましたが、今回東中沢一丁目に変更いたします。

10ページ**資料5**同じく西線の南部公民館・鎌ヶ谷高校間でございますが、現在都市計画道路3・4・7号線新設工事を施工しております、完了いたしますとこの**資料5**のとおりとなることから、運行ルートを変更する予定でございます。

なお、今回これらの変更に伴いまして運賃の変更はいたしません。

以上につきまして、本会議に協議いたしますので、ご検討をよろしくお願い致します。また、この協議結果を踏まえ、所定の事務処理を経て新年度より実施したいと考えており

	<p>ますので、どうぞよろしくお願ひ致します。</p>
会長	<p>ただいまの説明について、ご質問等ありませんか。 布施委員どうぞ。</p>
布施委員	<p>病院へ乗り入れる時ですが、乗り降りは回転して行うようにするのですか？</p>
事務局	<p>はい。そうなります。</p>
布施委員	<p>なるべく近い所に降ろしてあげたほうが、病院へ行く人でするので良いのではないですか？</p>
事務局	<p>今現在、白井市のナッシー号とレインボーバスの路線バスが病院へ乗り入れているのですが、そこで鎌ヶ谷総合病院停留所として設置しておられる場所がございますので、自ずとそちらの方の停留所へききょう号も設置するような形となると思います。そうしますと、回転して停まって、乗客を降ろしてそこから出発するというような形になると考えております。</p>
会長	<p>病院の向かって左手が駐車場になるわけですね。 何路線入っているのですか？</p>
事務局	<p>今現在、2路線です</p>

<p>会長</p>	<p>只今の説明でよろしいでしょうか。(質問がなければ) それでは、ききょう号の運行時刻及び停留所の一部見直しについては、地域公共交通会議において、協議が調ったこととしてよろしいでしょうか。</p>
<p>全員</p>	<p>異議なし</p>
<p>会長</p>	<p>次に2番、平成22年度「ききょう号」の利用人数及び運賃収入の実績報告について、事務局に説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成21年度のコミュニティバス「ききょう号」の利用状況についてご説明いたします。</p> <p>11ページ資料6をご覧ください。昨年度の乗車人数は、東線(ひし形)20,630人、東線2(○)4,349人、南線(△)30,078人、西線(□)14,338人、4線合わせまして69,395人となっており、平成20年度と比較しますと、175人増加しております。平成18年度からですと22,720人約1.5倍の増加となっております。また、12ページ資料7において今年度上半期の実績と比較をしておりますが、猛暑の影響によるものなのか、8、9月の利用者が前年度に比べ大きく増加しております。</p> <p>続きまして、13ページ資料8運賃収入につきましては、平成21年度は、東線及び東線②を合せまして2,301,797円、南線2,475,783円、西線1,41</p>

	<p>7, 325円、4線合わせまして6,194,905円の運賃収入がございました。平成20年度と比較いたしますと約58,400円減収になっております。乗降客が増加しているにもかかわらず減額となっている原因として、乗り継ぎの乗客が多かったことによるものと考えております。</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
会長	<p>ただいまの事務局の説明について、何かご質問などありませんか。</p>
会長	<p>高地委員</p>
高地委員	<p>12Pの資料で平成22年度の乗降客については8月、9月で減っているという解釈でよろしいのでしょうか？</p>
事務局	<p>今年度は増えています。</p>
会長	<p>その他はありませんか？</p> <p>ないようですので、次へ移らせていただきます。</p> <p>3番の平成21年度の意見・要望等について事務局で説明してください。</p>
事務局	<p>平成21年度、コミュニティバスに寄せられた意見・要望および苦情についてご説明させていただきます。14ページ資料9をご覧ください。</p>

昨年度の意見・要望等につきましては、年間で31件寄せられております、その内訳は、意見・要望12件、苦情16件、その他3件となっております、それを分類しますと、バスの運転に関するもの9件、運行日に関するもの3件、時刻表・発着時間に関するもの3件、バスの遅延に関するもの2件、バス停留所に関するもの3件、路線に関するもの4件、その他が各7件となっております。

意見・要望につきましては、増便6件や運行ルート、停留所の移動に関するものが各2件、施設に関するもの3件でございます。苦情につきましては、バスの運転に関するもの13件、バスの遅延に関するものが2件となっております。その他といたしましては、バス路線の事故に伴う通行止めによる運休、鎌ヶ谷警察署からの交通法規遵守の指導などがございます。

これらの意見・要望につきましては、コミュニティバス運行事業の現在の状況などを説明し、ご理解をいただいております。また、苦情につきましては、状況、事実関係の確認を行い、改善をこうじる等の対応をしております。

今回運行時刻の一部見直しを行うことから、バスの遅れも解消されるものと期待をしておりますが、今後もバスの遅延については、実態調査等実施し定時運行に努めてまいりたいと考えております。前年度に比べまして、全体では8件、苦情につきましては半分に減少しており、今後も各バス事業者の協力を得ながら、苦情の減少に努めてまいりたいと考えております。

	<p>以上でございます。</p>
会長	<p>ただいまの事務局の説明について、何かご質問などありませんか。</p>
会長	<p>成田委員</p>
成田委員	<p>コミュニティバス運行に関する苦情等について、運行委託業者に事実関係を確認して説明を受けているとの話ですが、千葉運輸支局としますと安全運行というのが非常に関心のあるところでございます。今回の苦情を見ると乗務員が運行中携帯を使用していて危険であるといった気になる表現があるのですが、事実関係を確認して委託事業者はその旨の改善を要望してどのように対処したのか。こうした部分を鎌ヶ谷市側は把握しているのか。事業者側がとった措置を鎌ヶ谷市に報告するようになっているのか。事故が起こってからでは遅いので、もう少し具体的に報告をしていただきたかったですと思います。また、今ご説明していただけるのであれば、お願いします。</p>
会長	<p>今、手持ちの資料でご説明できますか？</p>
事務局	<p>今のご質問についてですが、私どもが行っている日常のスタンスですが、市民の方からの苦情ですが市役所半分、事業者半分という形だと思います。私ども市役所の窓口、電話で</p>

	<p>寄せられた苦情につきましては、バス事業者の方へ連絡し、担当の部局から運転手のほうへ注意をしていただいているところでございます。ただ、今ご指摘いただきましたことにつきましては、ご指摘のとおり事務を進めていかななくてはならないと感じております。</p>
<p>成田委員</p>	<p>参考までにお伝えしたいのですが、来年の4月から運転手に対する教育指導の記録の保存の義務化が始まります。そういう意味で万が一事故が発生した場合、管理する会社なり、コミュニティバスなら地方公共団体が社会からの説明責任を果たす時に何もなかった時に、それが本当にそうだったのか正確性が欠く場合がありますので、安全に関わる内容については記録を残すような工夫をしていただきたい。現場の方々だけでなく、市役所の中でも注意喚起の意味も含めましても、運行事業者任せにするのではないようにしていただきたい。これらのことを是非検討していただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局はよろしいですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>ご指摘のとおり調整していきたいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>他にありますか？</p>
	<p>布施委員どうぞ。</p>

布施委員	運転手は決まった方が運転しているのですか？それとも、その都度代わられているのですか？
事務局	はい、大体は決まった方が運転されています。
布施委員	出来るのかどうかは運行事業者との関係もあるかと思うのですが、意見の中にも良い意見というのも出てきていますよね？良い意見が出てくるコミュニティバスと合っている運転手を出来るだけ配属していただけたら良いと思います。というのは、東京の自由が丘に無料バス「サンクスネイチャーバス」という小型バスを、タクシー会社1社とバス会社1社が運行しているのですが、非常に街に馴染んでいます。その一つの大きい要因は運転手が住民に気に入られていて、乗客は皆、声を掛けて乗ってきます。評判の良い運転手だと住民から差し入れを頂いたりするなどといった関係が築かれている。そうなってくると非常に街に馴染んでいると言えます。大変なことだとは思いますが、相性の良い人に運転手になっていただくことで、乗客数の増加に繋がるのではないかと思います。
会長	事務局は何かありますか？
事務局	バス運転手を適性のある方を配置することにつきましては、バス事業者とよく相談した上で可能かどうか協議していきたいと思います。

<p>会長</p>	<p>他に何かありませんか？</p>
<p>岡委員</p>	<p>以前、乗務員と利用者の方の双方へ取ったアンケートを採用していこうとなった時、利用者の方の意見としては運転が乱暴であるといった意見があったのですが、乗務員の方の意見としては運行時刻にもう少し余裕が欲しいといった意見も多々あったと思います。この会議で警察の方が、運転が乱暴であるという意見と、運行時刻に対する意見というのはかなり真剣に捉えた方が良いという意見をおっしゃっていたように記憶しています。その上で、今回遅延に対する対応を期待しているという意見もありましたが、今後はどのくらいの遅延が出ているのかといった事も把握した上で運行を決めていかないと安全を考慮した運行が出来ないと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局は何かありますか？</p>
<p>事務局</p>	<p>只今の意見を取り入れまして十分検討していきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>他に何かありますか？</p>
<p>岡委員</p>	<p>報告の中にバスが急発進をしたといった苦情がありますが、それについてはバス会社の方から返答はきているのでしょうか？</p>

事務局	いただいた苦情につきましては、各バス事業者の方に連絡し、事実確認をしていただいてから対応について報告をうけています。
岡委員	今年は改善されていると考えてよろしいのでしょうか？
事務局	今年については、今のところ例年に比べまして苦情等に対する電話は少なくなっているので、改善されていると市としては見えています。
岡委員	先程、国土交通省の方もからお話がありましたが、運行会社は乱暴運転やバス停を通過してしまったことについては、どのように対処したか記録を残しているはずであり、その書式もあるはずなので、FAX等で送ってもらったらいいのではないかと思います。
事務局	そのように市としても行っていきたいと思えます。
会長	他に何かありますか？ 無いようですので次にいきたいと思えます。 船橋市で実証実験中のオンデマンドタクシーについて、事務局に説明をお願いします。
事務局	このオンデマンド方式による乗合タクシーは、船橋市にお

きまして11月1日より3カ月実験的に実施するもので、八木が谷地区の路線バスの入れない地域において、市民の足を確保するものでありまして、委託を受けているのが、当会議の委員をしております、千葉県タクシー協会京葉支部長の小池委員の会社であったため今回、特にお願いしたものであります。それでは、小池委員よろしくお願いいたします。

小池委員

千葉県タクシー協会京葉支部長の小池でございます。

さっそくですけれども、船橋市におけるオンデマンド交通システムを使った乗り合いタクシーの実証実験ということで、11月1日より参加をさせていただいているところでございます。船橋市におかれましては、交通過疎地域というのが9ヶ所あるとしており、その中の一つである八木が谷地区において路線型のコミュニティバスを走らせるのと、地域の中でオンデマンドの交通システムをセダン型の車両を使って実証実験を行っています。

まず今年度の事業として、3ヶ月間の実証実験を行いその結果を見て、改善すべきところを見出しながら効果等を考慮して継続するか中止するのか判断していくこととなります。私どもとしましては、中止ではなく発展的に進めていければと思います。

オンデマンド交通システムを使ったタクシーとは地域の中を乗り降り自由である、そういったことをPRしながら実証実験に入っている所でございます。

オンデマンドのイメージを私なりに整理したものを説明

させていただきます。資料の2枚目をお開きください。陸上交通の特に自動車交通について考えると、縦軸に個別性・乗合性、横軸に定時制・緊急性をとっています。右上の緊急性、個別性が高いのがタクシーが担う分野であり、一方で乗合性、定時制が高いのが乗合バスだろうと思います。逆の対角線で見えていくと、個別性、定時性が高いのは介護タクシー、子育てタクシーというのがあります。また、緊急性、乗合性が高いのはオンデマンド交通になってくると思います。その中で、利用者が多ければオンデマンドバス、少なければオンデマンドタクシーということになると思います。

八木が谷・咲が丘地区につきましては、道路事情が非常に悪いこともあり、バスが運行することが困難であるが、人口密度が非常に高く、人の移動も多いこともあり、オンデマンドによるタクシーが有効なのではないかと考え、実証実験を行うことになりました。また、この地域ではバス停というのが限りなく自宅前になるが、タクシーの場合は特に停留所を定めず、また狭い路地でも入っていけるため高齢者の方に好評です。使い方によっては子供を駅に送るためにも定額であるため安心感がある。通常のタクシーですと行ってみるまでいくらかわからないという不安がない。また、先程お話しした緊急性と個別性を少しずつ譲ることで、一台当たりの輸送効率があがり、単価を下げる事が実現出来ます。日頃、タクシーも自家用車もそうですが、1人が一台ずつ車を使用しているような状態となっており、コスト以外でもエコという視点でも優れているのではないかと思います。

しかし、あまり馴染みの無い交通システムということもあり、それほど今のところ利用はない状態にあります。住民の方にいかに根付かせるかということが大きな課題になってくると思います。

その次の資料をお開きください。いかに馴染みの無い公共交通のシステムに馴染んでもらうかということの中で、船橋市と協議してこのチラシを作成しました。11月1日からの利用状況についてですが、今日で3週間経ちましたがほとんど利用がありません。平均一日2～3人という状況です。ただ、船橋市の総合交通計画課への顧客登録は相当数あるようです。それから、わが社への問合せも一日5～6件程ございます。今のところそれが利用に繋がってはならず、コミュニティバスと同様に工夫を重ねながら徐々に利用者が増えていくことになると思います。

今回の八木が谷・咲が丘地区というのは昭和40年代に小規模開発がいくつも重なり、大きな街並みになった経緯がございます。また、高齢化率も高くなっており自転車や徒歩で病院等へ行くのが困難な方が多くなっています。

会長

ただいまの説明について、何か伺ってみたいことなどありませんか。

このオンデマンド方式というのは、地域を指定して行っているのですか？

小池委員

はい。今回の場合ですと、丁目単位で括った地域を面とし

	<p>て捉え、その中で乗り降り自由となっています。</p>
会長	<p>使用しているタクシーは一般のタクシー車両とは違うのですか？</p>
小池委員	<p>普段使用しているタクシー車両を用いています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 他にある方いますか？</p>
三橋委員	<p>一日2～3人の利用ということですが、主に利用する区間というのは駅が多いのでしょうか？</p>
小池委員	<p>今のところ何とも言えない状況です。2～3人の内の1人が決まった方でして、もともとタクシーを利用してくださった方で駅や地域内の病院へ行く際に利用していただいております。</p>
会長	<p>他にありませんか？</p>
布施委員	<p>顧客登録でパソコンにデータを入れておくと、電話がかかってきた際に画面に表示されるシステムは採用されているのですか？</p>
小池委員	<p>はい、C P I というのですけれども、船橋市で実証実験な</p>

	<p>さっているものは東京大学の研究チームが開発しているシステムを使っています、基本的にはサーバーは東大のほうにあります。登録作業をすると、そのサーバーの方に個人情報が入ります。利用者がWeb上で利用者番号を打つと、その人がこの時間帯に車を欲しがっているという情報が入ります。そのようなシステムを今実験しています。</p>
会長	他に何かありませんか？
岡委員	何年か前に、バス停留所ごとの乗降客数をまとめた資料を出していませんでしたか？
事務局	事務局としてはその資料は持っていますが、前回と今回の会議では配布はしておりません。
会長	<p>他に何かありませんか？</p> <p>無いようですので、以上をもちまして、本日の会議は、終了させていただきます。みなさん御苦勞様でした。</p>

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成22年12月28日

氏名 佐藤 明治